

2018（平成 30）年 6 月 9 日

大学関係者 各位

大会運営委員会

第 40 回 大学職員「人間ネットワーク」のご案内

以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【 テーマ 】 『大学版インクルーシブ学修支援環境を創造する』
～『多様性への共感を育む学習環境の構築とは』～

基調講演 『高等教育における二つの障害者差別を考える』
講 師 岡山理科大学経営学部 准教授 川島 聡 先生

【日時・会場】 日 時 平成 30（2018）年 7 月 14 日（土）12：00～
※詳細は、次頁をご覧ください
会 場 岡山理科大学 岡山キャンパス A1 号館
〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1

【参加費】 研修会 （会員：無料、一般：1,500 円）
情報交換会 1 （会員/一般：3,500 円）
※参加費は、当日受付で現金にてお支払いください
※情報交換会 2（費用別途）も計画しております

【宿 泊】 宿泊は、各自で手配をお願いします。
※岡山駅近辺のホテルを、お早めに確保されるようお願いいたします。

【申込方法】 以下の URL のフォームからお申し込みください。
<https://goo.gl/forms/hytrJVSSwVh2EHx63>
申込期限：6 月 22 日（土）17:00 まで

《 開催趣旨 》

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の通称「障害者差別解消法」が施行（平成 28 年 4 月）され、障害のある学生・生徒・児童への教育的支援の必要性は言うまでもありませんが、日本国憲法、教育基本法でも『全ての国民に、その能力に応じた教育を受ける機会が与えられなければならない。』と保証され、そのうえで教育基本法、学校教育法では『特に、障害のある子供には、自立や社会参加に向け、一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じた指導や支援（特別支援教育）が必要。』と記されています。

近年、少子化傾向にある中で、支援が必要な児童生徒は増加しており、特別支援教育が一層重要となっていることは、日常の業務を通じての実感でもあります。

障害者が積極的に参加・貢献できる社会＝共生社会の実現は、様々な人が生き生きと活躍できる社会を目指すものであり、教育分野の重要課題として、一人一人に応じた指導や支援（特別支援教育）に加え、障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学ぶ仕組み（インクルーシブ教育システム）の構築が取り組まれています。

障害者権利条約によれば、インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な機能等を最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が一般的な教育制度から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされています。

そこで今回は、共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念にスポットを当て、皆さんと共にその構築のための学習機会となること目的としました。

多くの皆様のご参会をお待ち申し上げます。

～ H29 年度全国障害学生支援セミナー（1）より参照 ～

問い合わせ先 大学職員「人間ネットワーク」

中国支部：加藤和輝 KATO.Kazuteru@joshu.ac.jp

《 7 月 14 日(土) 》 研修会

岡山理科大学内での受付場所・研修教室等は、当日掲示にてご案内いたします。

当日の食堂（A1 号館 地下 1 階）の営業は 10 時～14 時。※メニュー限定

売店（A3 号館 1 階）も営業しています。

http://www.ous.ac.jp/up_load_files/pdf/kakegakuen_map.pdf

- | | | |
|--------|---------------|--------------------|
| 11：30— | 会員 受付開始 | |
| 12：00— | 恐竜学博物館見学 | （希望者は受付前までお越しください） |
| 12：30— | 一般参加者 受付開始 | （参加費をお支払いください） |
| 12：30— | 会員 総会（～12：55） | |

◆第1部 研修

13:00-13:10 開会

13:10-14:20 基調講演：岡山理科大学経営学部 准教授 川島 聡 先生

14:35-16:45 グループディスカッション、総括

16:45-17:00 閉会、記念撮影

～ キャンパス内 移動 ～

◆第2部 情報交換会

17:10-18:40 情報交換会1 [於：岡山理科大学内 食堂]

19:00- 岡山理科大学発 路線バス発車

～ 移動・チェックインなど ～

20:15- 情報交換会2 ※岡山駅近辺で調整中。詳細は当日受付にて。

《 アクセス 》 岡山理科大学 正門着

岡山駅運動公園口(西口 22番乗り場) から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約20分

http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku/pdf180201/47_gakuen.pdf



●お願い 次の点について、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配付いたします(項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです)。予めご了承ください。
- ② 会員の方は身分証になりますので、必ず会員証をご持参ください。

《 7月15日(日) 》 オプションツアー（任意参加・要申込）

『歴史ある文化と芸術を訪ねて』

◆スケジュール

- 9:00 岡山駅 中央改札口前 集合
- 9:11 岡山駅発（JR山陽本線）
- 9:28 倉敷駅着
- 9:45 美観地区 大原美術館、新溪園など（他：星野仙一記念館）
※散策・会食（他：地ビール、地酒）
- 15:00 倉敷駅にて解散

◆参加費 3,500円（昼食代のみ〔交通費・入館料など除く〕）

▲大原美術館（<http://www.ohara.or.jp/201001/jp/index.html>）



1930（昭和5）年設立の、日本で最初の私立西洋美術館です。

エル・グレコの「受胎告知」やクロード・モネの「睡蓮」をはじめとする西洋の名画や、日本の近・現代美術、民芸運動に関わった作家の作品、オリエントや東洋の古美術など広範な作品を展示・收藏しています



▲新溪園



建物の2階
入り口

▲星野仙一記念館（<http://1001-kinenkan.jp/index.html>）



【 大学職員「人間ネットワーク」の概要 】

【 設立趣旨 】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言いかえれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると1998年(平成10年)に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公私大、教職員の枠組みを超えて相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなっている。日本の大学が、国公私大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

(2018年6月)

【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・ 京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について

第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART2』
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考える PART2』
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が返る-
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』
第31回	東京都	平成25年12月	国士館大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学 (大橋キャンパス)	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』
第33回	愛知県	平成26年12月	椋山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』
第34回	京都府	平成27年6月	京都学園大学	大学の使命 第7弾 『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える』
第35回	広島県	平成27年11月	広島工業大学	大学の使命第8弾 学生の主体的学びへの支援 学びを促進する学習支援とアカデミックアドバイジング
第36回	東京都	平成28年7月	東京家政大学	大学を創る、未来を創る「大学史の原点と未来。不可視の未来を見据え、今何をすべきか」
第37回	福岡県	平成28年11月	筑紫女学園大学	本物の職員力「SDの義務化、その背景とこれからの職員論」
第38回	愛知県	平成29年6月	名城大学	『大学職員のキャリア形成』
第39回	兵庫県	平成29年11月	大手前大学	「大学のまち・西宮」